



Ryuichi Kumagai
熊谷 竜一さん
(荒砥高2年)

研修を通して、モノの見方が変わったと思います。具体的には、一つの事柄について、より多方面から考えることができるようになりました。

今回の研修で、自分の伝えたいことを100%言葉にして伝えることができたかと言われると、それはできませんでした。僕が目指すのは、自分の言いたいことを100%伝えることができるくらいの英会話能力です。今回知った自分の実力をしっかりと認め、これからは英語の勉強に力を入れていきたいと思っています。



Haruna Takahashi
高橋 春奈さん
(荒砥高2年)

以前から海外に行ってみたくてという思いを持っていたので、今回の話をお聞きし、「これはチャンスだ」と思い研修に参加しました。

英語は苦手でしたが、事前研修はもちろん、テレビで英語講座の番組を見たりするなど、自分なりに準備をして研修に臨みました。実際には、現地の人たちの話すスピードの速さや単語の難しさで、会話をあまり理解することはできませんでしたが、日本のお土産を渡すととても喜んでくれました。今回の研修で経験したことを意識しながら生活していきたいです。



Sayo Kobayashi
小林 咲葉さん
(白鷹中3年)

はじめはとても不安だったホームステイも、自分の知っている英単語などを駆使して、なんとか自分の意思を相手に伝えることができました。日本のことや白鷹町のこと、紅花やフラワー長井線、桜のことなどを教えることができました。

自分が頭の中で考えていることは、口に出して伝えようとしないと相手には伝わらない、自分の思いを伝えることはとても大切なことだと思いました。これからは自分の考えを積極的に声に出すということを心がけていきたいです。

緊張、不安、期待、驚き、感動、学び、気づき——



Kanato Hasumi
羽角 奏音さん
(荒砥高2年)

今回の研修を通して大切だと思ったことは「積極性」です。恥ずかしがっていたら話ができない、進まないのでは、限られた時間の中でたくさんのものを得るためには、自分から行動を起こさなければならないことを学びました。

また、英会話は難しかったです。もっと英語の勉強をがんばろうと思うきっかけとなりました。自分の力を試すことができ、できることとできないことがわかった研修——。これからは新しいことに積極的に挑戦し、さまざまな力を身につけていきたいです。



Kai Ebina
海老名 快さん
(荒砥高2年)

今まで日本から出たことはなく、ほかの国の環境や気候など、全くわからないものでした。しかし、研修の中でさまざまな衝撃を受けたことで、自分の世界観が大きく変わりました。

また、現地で体験したことを自分の国や町と比較することで、たくさんのことを学び、大きく成長できました。海外の同世代の人たちと情報交換できたことも、自分たちの将来に大きく影響してくると思います。この経験を今後の生活に生かして、将来の夢、白鷹町の向上につなげていきたいです。



Mei Marukawa
丸川 芽依さん
(白鷹中3年)

外国の人と話したり、仲良くなるには、言葉の壁を無視して“ふっきれる”ことが大切だと学びました。そして、研修で学んだことを忘れないようにするために、いろいろな人に繰り返し伝えていかなければならないとも思いました。

また、白鷹町とオーストラリアは、雰囲気やにおいなどは何もかもがちがいましたが、人の心の温かさは一緒でした。これからは、町の温かい人材を守りながら、町の抱えている課題に対して何ができるのかをしっかりと考えていかなければならないと思いました。